

体に負担の少ない腹腔鏡手術を積極的に行っています

市立病院の腹腔鏡手術（胃がん編）

市立病院では、がんを安全に治すという前提のもと、患者さんにやさしい手術である「腹腔鏡手術」を積極的に行い、より質の高い医療を目指しています。
 問合 市立病院総務課（☎32・5622）

■ 図：胃がんの腹腔鏡手術の種類



近年、胃がんは減少傾向にあります。年間12万人が罹患し、5万人が亡くなるという、依然頻度の高い疾患です。一方でその治療法の発展はめざましく、ごく初期の胃がんでは胃切除を行わずに内視鏡を用いて病巣のみを切除することで根治できることがあります。また手術が必要な場合でも、腹腔鏡を用いた体に負担の少ない方法で手術ができます。

今回はこの胃がんの腹腔鏡手術についてご紹介します。2006年に福岡ソフトバンクホークスの王貞治監督（当時）が腹腔鏡による胃全摘手術を受けました。そのころから胃がんの腹腔鏡手術を希望する患者さんが増加したこともあり、全国的に普及してきました。市立病院の外科・内視鏡外科では腹腔鏡手術を積極的にを行っています。

① 傷が小さい
 4、5か所の0・5cmあるいは1cmの穴と、場合によっては4、5cmの小切開で手術を行うため、美容的に優れています。

② 精密な手術操作ができる
 高精度のカメラを用いることで、より詳細な観察が可能になり、神経や血管などのお腹の中の組織をより詳しく見ることができ、正確な手術を行うことが可能です。

③ 術後の痛みが少ない
 まったく痛みがないわけではありませんが、傷が小さいため術後の傷の痛みが少なく、翌日から普通に歩くことができます。

④ 術後の消化管運動の回復が早

今回はこの胃がんの腹腔鏡手術についてご紹介します。2006年に福岡ソフトバンクホークスの王貞治監督（当時）が腹腔鏡による胃全摘手術を受けました。そのころから胃がんの腹腔鏡手術を希望する患者さんが増加したこともあり、全国的に普及してきました。市立病院の外科・内視鏡外科では腹腔鏡手術を積極的にを行っています。

⑤ 癒着が少ない
 傷が小さいため術後の癒着が非常に少ないと言われていいます。そのため、癒着性腸閉塞も少ないと言われています。

当院では日本内視鏡外科学会の技術認定を受けた医師が複数で手術を担当し、すべての部位において腹腔鏡手術を行っています。

腹腔鏡手術では、まずおへそを1cm程度切開しカメラを挿入します。

開腹手術（図①）では上腹部を20〜25cm程切開します。この他に手術器具を挿入するために0・5cmあるいは1cmの傷が4か所必要です。手術はテレビモニターを見ながら進められます。手術に関わっている全員が同時に同じ画面を見ることができ、確認を十分行うことができます。より安全に手術をすることができ、



市立病院での腹腔鏡手術の様子。手術に関わる全員が同じ画面を確認しながら進められています。

お腹の中で切除した臓器を取り出し、再建（胃と腸をふん合する）などを体外で行います。

完全腹腔鏡下手術（図③）の場合はおへその傷を少し広げて切除臓器を取り出し、再建は腹腔鏡下で体内で行います。

検診などで胃の異常が発見された場合には市立病院を受診していただくことをお勧めします。

年末年始の市役所業務スケジュール



市役所の年内の業務は12月27日（金）までとなります。
 12月28日（土）から1月5日（日）まで閉庁し、
 新年の業務は1月6日（月）からとなります。



ごみの収集の日程などご注意ください！

■ 表1 年末年始の一般家庭ごみ収集日程表

可燃ごみ収集コース	年末収集最終日(12月)			年始収集始業日(1月)		
	可燃ごみ	カンビン・ペット等	ペットボトル・食品トレイ古紙	可燃ごみ	カンビン・ペット等	ペットボトル・食品トレイ古紙
月・木曜日コース	30日	18日	25日	6日	15日	8日
火・金曜日コース	31日	18日	25日	7日	15日	8日
水・土曜日コース	28日	19日	26日	4日	16日	9日

※粗大ごみ(有料)は電話申込制になっています。
 (粗大ごみ電話申込センター ☎0800・123・5300 携帯電話からは0725・23・8522)

■ 表2 直接搬入日程表(自己搬入用)

	年末	年始
可燃ごみ・資源ごみ粗大ごみ	12月27日（金）まで	1月10日（金）から

※環境課の窓口でも搬入許可書を配布しています。また、泉北環境整備施設組合のホームページからもダウンロードできます。

■ 市立病院 年末年始救急診察状況

月日	救急診察状況
12月27日（金）	休 診
12月28日（土）	
12月29日（日）	
12月30日（月）	
12月31日（火）	
1月1日（水）	小児科救急：午後11時～翌朝午前6時
1月2日（木）	内科二次救急※（吐血・下血） 午前9時～翌朝午前9時
1月3日（金）	休 診
1月4日（土）	小児科救急：午後11時～翌朝午前6時
1月5日（日）	休 診

※二次救急とは、入院が必要な症状の人、救急車で搬送が必要な人に対する救急診療のことです。

◎ごみの収集スケジュール

▷一般家庭ごみ
 一般家庭ごみの年末年始の収集日については、表1のとおりです。

▷粗大ごみ（電話またはインターネットで要申込）
 年内の粗大ごみ収集をご希望の方は、12月20日（金）午後5時までに粗大ごみ電話申込センター（☎0800・123・5300 FAX0800・500・5300）、携帯電話からは☎0725・23・8522にお申し込みください。また、インターネットからのお申し込みは12月18日（水）までにお申し込みください。

粗大ごみ収集予約 = <https://s-kantan.com/sodai-izumiotsu-u/>
 粗大ごみ申込センターの受付業務は、年末は12月27日（金）まで、年始は翌年1月6日（月）からとなります。

▷焼却場へ直接搬入する場合
 多量のごみや事業所・商店などのごみを直接ごみ焼却場（泉北クリーンセンター＝和泉市舞町87番地 ☎41・2030）に搬入する場合の年末年始の日程は表2のとおりです。

◎ふれあいバスの運休について

市では、60歳以上の人や障がい者、妊産婦、乳児連れの人などの積極的な社会参加を支援するために、市内の公共施設などを循環する「ふれあいバス」を運行しています。年末年始は、次のとおり運休します。

運休日 12月28日（土）～平成26年1月5日（日）
 問合 高齢介護課（市役所1階6番窓口）

◎戸籍関係の届けや市営葬儀など

戸籍関係の届け出は、年末年始の休み期間中でも市役所当直室（市庁舎地階）で取り扱います。ただし、市営葬儀の受け付け（死亡届を含む）および飾り付け業務は、1月1日（水）は休みです。また、火葬場は1月1日（水）、2日（木）が休みです。

◎日曜日の証明書発行の取扱いのお休みについて

12月29日（日）は、年末年始の休業のため休みです。また、平成26年1月5日（日）は新コンピュータシステムへ変更に伴いお休みです。
 問合 市民課（市役所1階4番窓口）

泉大津市有功章を受章されました

本市では、泉大津市有功者表彰条例に基づき、市の発展に功労のあった人を泉大津市有功者として表彰しています。

今年度は、地方自治の分野において貢献された次の2人を「市有功者」として、11月3日に開催した「有功者表彰式」にて表彰し、有功章を贈りました。

平成25年度有功者の皆さんと主な肩書き

北島政夫氏【自治関係功労者】泉大津市農業委員会会長
 高橋成年氏【自治関係功労者】元泉大津市教育委員会委員長

問合 秘書広報課（市役所4階）

■ 平成25年度有功章受章者



北島 政夫 氏



高橋 成年 氏

認知症の人と家族が安心して暮らせるまちを目指して

認知症は誰にでも起こりうる脳の病気です。高齢者のうち認知症の人は約15%、約462万人にのぼると推計されています。認知症は、周囲の人が認知症について正しく理解し、見守り、地域で支えあうことが大切です。認知症の人や家族が安心して暮らせるまちを目指して、認知症について学びましょう。



◎あたまいきいき講座
▽映画上映「毎日がアルツハイマー」
日時 平成26年1月18日(日) 午後1時30分～3時30分
場所 市民会館小ホール
内容 △映画上映「毎日がアルツハイマー」…監督がアルツハイマー型認知症の母との暮らしを2年半にわたって記録したドキュメンタリー映画 △報告：泉大津市の認知症に関する現状と取り組み(泉大津市医師会・泉大津市地域包括支援センター)
▽講演会「ぎんさんの娘たちはなぜボケない?」脳若さを保つ秘訣はコレだ!」
日時 平成26年2月8日(日) 午後1時30分～3時30分
場所 市民会館小ホール
講師 遠藤英俊氏(国立長寿医療研究センター 内科総合診療部長)
内容 認知症の基礎知識や予防の方法、地域の一員としてできることなど認知症の人や家族への支援について、認知症の専門医による講演
なお、手話通訳があります。お申し込み時にお問い合わせください。

申込みの詳細(両日とも共通)
対象 市内在住の人
定員 各日150人(申込先着順。定員になりしだい締切)
なお、できるだけ前日お申し込みください。映画上映、講演会どちらかのみのお申し込みもできます。
申込・問合せ 12月12日(日)から直接または電話で高齢介護課(市役所1階6番窓口)へ
共催 泉大津市医師会、泉大津市地域包括支援センター
◎認知症サポーター講座
認知症サポーターとは、認知症を正しく理解し、認知症の人やその家族を温かく見守る「応援者」のことです。この講座では認知症の基礎知識、認知症の人と接するときの心構えなどをお話します。市内で1385人が受講しています(10月1日時点)。受講者には、サポーターの証として「オレンジリング」をお渡しします。
費用 無料
申込方法 会場をご用意いただき、10人以上で申し込み
申込・問合せ 高齢介護課(市役所1階6番窓口)へ

「徘徊高齢者等 SOS ネットワーク」を実施しています。

認知症高齢者などが、徘徊などで行方がわからなくなったときに、本人の特徴などを協力機関に情報発信し、早期発見と安全の確保を目指す「徘徊 SOS ネットワーク」事業を実施しています。

これは、積極的な捜索活動を行うものではなく、協力機関の業務範囲の中で協力をお願いしています。

利用方法・手順 ①高齢介護課窓口で事前登録(未登録でも利用可能ですが、事前登録をお勧めします。要写真)→ ②認知症高齢者などが徘徊で所在がわからなくなったとき、高齢介護課に電話連絡または窓口へ(警察への連絡は別に必要となります)→ ③行方不明時の情報や本人を確認できるような特徴などを高齢介護課から協力機関へファクスで発信
問合せ 高齢介護課(市役所1階6番窓口)へ

- 認知症についての相談窓口**
- ▷地域包括支援センター(ベルセンター ☎21・0294)
 - ▷覚寿園いきいきネット相談支援センター(☎33・1000)
 - ▷オズいきいきネット相談支援センター(☎33・6001)
 - ▷百楽園いきいきネット相談支援センター(☎21・1250)
 - ▷和泉保健所(☎41・1342) ▷高齢介護課(市役所1階6番窓口)

認知症高齢者の「買い物マップ」作りにご協力を!

認知症の高齢者が安心して買い物できるように配慮いただけるお店を募集します

泉大津市介護支援専門員(ケアマネジャー)連絡協議会では、認知症高齢者が普段のお買い物を安心してできるように配慮していただけるお店の情報などを掲載した地図を作成することになりました。

地図の掲載にご協力いただけるお店につきましては、市地域包括支援センターへご連絡ください。後日当連絡協議会より介護支援専門員が訪問させていただきます。

問合せ 市地域包括支援センター(市役所東側・ベルセンター内 ☎21・0294)

ココがすごい！いづみおおつの保健福祉事業



本市では、住みたい、住み続けたいまちを目指してさまざまな取り組みを行っており、他の自治体ではみられない先進的な事業もあります。福祉分野における本市の取り組みを紹介します。

虐待防止
子ども・高齢者・障がい者に対する虐待を防ぐため「虐待ワンストップ相談窓口」

子ども・高齢者・障がい者に対する虐待総合相談窓口を一本化したホットライン(泉大津市虐待相談ホットライン☎0800・200・0213)を開設しています。平日の午前8時45分から午後5時15分の間で受け付けています。また、健康福祉部内で「泉大津市虐待対応ネットワーク」を構築し、関係機関の連携のもと、通報の受理や保護および支援を行っています。

介護保険料
府内の市で最も低い介護保険料

申請時や認定、給付の適正化の成果により、大阪府内の市の中で、一番低い額(4,380円)となっています。

介護予防
自主サークル立ち上げを援助「自分の健康は自分で守る」意識の醸成

「自分の健康は自分で守る」という意識を持ってもらうため、市の自主サークル立ち上げの援助をし、長寿園などを活用して市民自らが定期的に介護予防体操などを実施しています。平成25年11月現在、14サークル(285人)が活動中です。

健康増進
特定健診(集団健診)を駅前のホテルで年6日実施

国の国保保健指導事業の未受診者対策事業として、特定健康診査(集団健診)を駅前ホテルであるホテルレイクアルスターにて、年6日実施しています。駅前という便利な立地やホテルという非日常的な場所での健診ということもあり、好評をいただいています。

来年2月24日(月)、25日(火)に今年度最終となるホテル健診の実施を予定しています。詳しくは2月号広報紙などでお知らせします。

児童虐待防止
児童虐待防止ネットワークをつくり日常生活支援員を要支援家庭に派遣親子の心のケアを行っています

社会福祉士をスーパーバイザーとして迎え、日常生活支援員を要支援家庭に派遣しながら親子の心のケアと育児環境を整え、慢性的なネグレクトなどの状況を改善し、児童のよりよい育ちを支援しています。

医療と介護の連携
医者・病院・介護職・行政職が連携し情報共有を図っています

医療と介護連携ネットワークとして「イカロスネット」を立ち上げ、泉大津市医師会、市立病院、介護職、行政職の「顔の見える関係」を築き、認知症や在宅医療・介護に関する連携を強化し、情報共有を図っています。

子育て支援
「結婚」「妊娠」「出産」「子育て」とライフステージにあわせた子育て支援を行っています。

不妊に悩む夫婦のために、「不妊に悩む方への特定治療助成金」をはじめ、妊娠期では「マタニティ歯科健診」や産科医療機関と連携し、「家庭訪問」、「相談」などを通して、出産後も安心して子育てができるよう支援しています。また、産後不安な時期には「こんにちは赤ちゃん訪問事業」を看護師や保健師などの専門職が訪問しています。

食事療養費助成
泉州で唯一！重度障がい者の入院に対し食事の負担額を助成

泉州8市4町で唯一、65歳未満の人に対する重度障がい者医療費助成事業において、入院期間中の食事に係る標準負担額の助成を行っています。